

ひゅーまん らいつ  
HUMAN RIGHTS

平成26年10月20日 第4号

## 人権作文優秀作品その2

法務局人権作文コンテストに出品された作品から、今回は2年2組の生徒さんの作品を掲載します。

### ～「人権と向き合う」2年2組の生徒～

私は、学校の講演会で目の見えないWさんという人の話を聞きました。Wさんは、「視力を失って見えるもの」ということを話してくれました。私はこの講演を聞いて人権としっかり向き合おうと思いました。

Wさんがまず話してくれたのは、障害者と見る目のことです。「目が見えないのだから、どうせできないのだろう」など、そういう目で見ないで、「目が見えない人は何ができるのだろう」というように、興味を示す目で見てほしいということ、障害があるからといって何もできないのだろうと思わないでほしいということをお話してくれました。私は今まで「障害者は一人では何もできないのだろう」「障害者はかわいそう」と思っていて、冷たい目で見てしまっていたと思

います。でもWさんは目が見えないのに普通に歩くことができているし、この話を聞いて、私が今まで障害者に対して思っていたことはまったく違っていたことに気づくことができました。

もうひとつWさんが話してくれたことで印象に残っていることは、人の気持ちを考えた発言をしようという話です。Wさんは目が見えなくなっただけで、人の気持ちや言葉の重さを感じるようになったと話していました。言葉に出す前に、この場の空気をよくできる発言か、悪くしてしまう発言か、相手を不快な気持ちにしない発言かを考えて発言しようということを教えてくれました。それと、素直に謝ろうということも教えてくれました。言葉に出す前に相手の気持ちを考えて発言すること、悪いことをしてしまったら素直に謝ることをしっかりやろうと思います。

私は、今回の講演会で人権についてしっかり考えられるようになりました。これからは思いやりの心をもって、人権としっかり向き合って生きたいと思っています。



# 町人権標語優秀作品選定結果から



先日、町の人権標語選定委員会が開催され、優秀作品、最優秀作品の選考が行われました。皆野中学校からは各学年6点（3年生の作品については前号で掲載）出品しましたが、そのうち2点が優秀作品に選ばれ、1点が最優秀作品として選ばれました。

最優秀作品 2年2組

「認めあおう 一人一人の 輝く個性」

優秀作品 1年2組

「自分から！ あなたの勇気で 笑顔の連鎖」

優秀作品 3年2組

「ふみだそう あなたの勇気で いじめゼロ」

これらの作品は、校内にも掲示する予定です！



1・2年生の入選作品（皆野中学校から出品されたもの）

クラス	名前	作品
1年1組		さしのべる その手で未来は いじめゼロ
1年1組		作ろうよ クラスのみんなの 笑顔の輪
1年2組		咲かせよう 思いやりの花 美しく
1年3組		ふみだそう いじめをとめる 第一歩
1年3組		勇気出し いじめをなくす 笑顔の社会
2年1組		この耳を あなたのために 役立てる
2年1組		心から 認めあおうよ 違う個性
2年2組		なりたいな 人の幸せ 喜ぶ私
2年3組		手をつなぎ 心の中で 支えあおう
2年3組		みつけあおう 私とあなたの いいところ

